



助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付 : 2020年5月15日
 日海科振 第034号
 事業ID : 2018487507
 事業名 : 基盤整備
 団体名 : 公益財団法人 日本海事科学振興財団
 代表者名 : 常務理事 鈴木 浩 司
 TEL : 03-5500-1112
 FAX : 03-5500-1190
 事業完了日 : 2020年3月31日



事業費総額	364,229,255円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	30,739,255円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	333,490,000円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	円	(収支計算書の青のセルの値)

I. 事業内容(実績。700文字以内):

1. 海洋に関する博物館事業

(1) 「船の科学館 別館展示場」の公開

領海や排他的経済水域などの日本の海を海底地形図などで紹介する「にっぽんの海」や「海を守る」、海に関する疑問に回答する「海と船のQ&A」等のコーナーの設置、学芸員による展示解説を実施。併せて、海の環境問題をテーマとしたVR映像展示を新たに設置するとともに、公衆フリーWiFiを整備。

(2) 屋外展示資料の保存整備

初代南極観測船“宗谷”等の屋外展示資料を適切に保存し、来館者への良好な見学環境を提供するために日常的な保守管理を実施。併せて“宗谷”については長期保存整備工事を実施するとともに、展示内容のリニューアル、多言語化対応を実施。

(3) ボランティアの活用

海洋・船舶に関する専門的な知識を有するボランティアの協力を得て来館者に対する解説・船内案内等を実施。

(4) 将来計画の策定

周辺地域の開発を踏まえ、将来に向けての新たな博物館構想の取り組みを継続するとともに、国家戦略特区や周辺地域の開発計画等の情報収集を実施。

2. 海洋に関する科学知識の普及啓発事業

(1) 海洋に関する科学知識の普及啓発活動

参加体験型の夏季特別催事等の開催、生涯学習の機会創出を目的に、視覚障がい者を対象とした参加体験型プログラムを実施。また、大学との連携による次世

代を育成する若い世代の育成を目的とした「海の学び 次世代人材育成」活動や学校等へのアウトリーチ活動を積極的に実施するとともに、関係機関との連携による事業を行った。そのほかホームページでの収蔵品データベースの公開ならびに全国の博物館等に資料の貸し出しを実施。

3. その他財団の目的達成に必要な事業

(1) 広報活動

事業の成果を広く一般に周知させるため、ホームページをはじめツイッター等のSNSを活用した情報発信のほか、マスメディアへの取材協力及び海洋関係機関、学校等の諸行事に対して積極的に協賛・協力を実施。

(2) その他財団の目的達成のため必要な事業を実施。

II. 事業内容詳細:

1. 展示、学芸活動関係

(1) 「船の科学館別館展示場」の公開

別館展示場では、国連海洋法条約に基づく日本の海とその海を守るための取り組みを紹介する「にっぽんの海」や、「海を守る」と題した展示コーナーを中心に当館収蔵品の一部を公開するとともに、当館学芸員による展示解説などを通じて海洋に関する様々な疑問に対し、わかりやすく回答するコーナーを設置するなど海洋に関する科学知識についての普及啓発を図った。また、“宗谷”展示リニューアル工事にて導入した、海の環境問題をテーマとしたVR映像展示「VRブループラネット～海からの警鐘～」(インタラクティブ版)を新たに設置するとともに、公衆フリーWiFiを整備した。

なお、別館展示場建物については経年劣化が著しく、錆などの汚れが目立つとともに金具の落下等が懸念される状況となっていたことから、来館者の安全確保及び快適な見学環境の維持を目的に改修工事を行った。さらに新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため、令和元年3月1日から31日までの期間を臨時休館とした。

① 船の科学館別館展示場公衆フリーWiFi環境の整備

委託業者：公衆フリーWiFi環境整備工事発注先：テレファックス(株)

公衆フリーWiFi整備費用の一部については、公益財団法人東京観光財団「観光施設の国際化支援補助金」補助対象事業として交付決定を受けた。

・令和元(2019)年度の入場者数 64,576名(前年対比-36.4%)

・公開日数 279日

・当館の休館日及び臨時休館に伴う未公開日数 86日

(2) 「初代南極観測船“宗谷”」の一般公開

① “宗谷”の乗船者数及び公開日数

・令和元(2019)年度の乗船者数 33,743名(前年対比-45.2%)

・公開日数 230日

・当館の休館日及び長期保存工事に伴う未公開日数 135日

宗谷長期保存整備工事に伴う休館
令和元年12月28日～令和2年3月31日

② “宗谷”長期保存整備工事

実施期間：令和元年6月25日～令和2年3月19日

委託業者：株式会社ケーエムシー横浜

内 容：安全かつ適切に保存し来館者への良好な展示環境を提供するため長期保存整備工事を実施した。

③ “宗谷”展示リニューアル工事

実施期間：令和元年11月19日～令和2年3月19日

委託業者：株式会社デザインアートセンター

内 容：一般公開から40年が経過し老朽化の進んだ“宗谷”船内の展示内容についてリニューアル工事を実施した。

④VR映像ソフト及び装置制作

実施期間：令和元年9月4日～令和2年3月20日

委託業者：凸版印刷株式会社

内 容：“宗谷”及び別館展示場に設置し上映するため海の環境問題をテーマとしたVR映像ソフト及び装置の制作を実施した。

⑤ “宗谷”電気設備の安全対策工事

実施期間：令和2年2月28日～令和2年3月19日

委託業者：株式会社デザインアートセンター

内 容：“宗谷”電気設備の安全対策工事を実施した。

⑥初代南極観測船“宗谷”船舶検査

実 施 日：令和2年3月10日

調査機関：関東運輸局東京運輸支局

内 容：船舶安全法施行規則に基づく第一種中間検査

⑦初代南極観測船“宗谷”多言語化に伴う翻訳

実施期間：令和2年2月14日～令和2年3月12日

委託業者：翻訳業務発注先：トライベクトル㈱

内 容：「東京2020オリンピック・パラリンピック」開催、「東京国際クルーズターミナル」開業を控え、今後更なる増加が見込まれる訪日外国人向けに、初代南極観測船“宗谷”における展示解説の多言語化（英語、中国語簡体字）作業を行った。

(3) 資料の受入

令和元(2019)年度においては、次のとおり資料の受け入れを行った。

① 金澤敏文氏：海上自衛艦旗 他1点

② 大橋弘樹氏：戦列艦“ラ・クローン”船舶模型 他1点

③ 株式会社IHI原動機：新潟鉄工所製ディーゼル機関TN8E型3D造形模型

(4) 資料の貸出

①国立大学法人神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館

- 貸出資料：船舶模型「原子力船“むつ”（縮尺 1/100）」ガラスケース付
貸出期間：平成 31 (2019)年 4 月 1 日～令和 2 (2020)年 3 月 31 日
- ②公益財団法人三笠保存会
貸出資料：船舶模型「戦艦“三笠”」他 1 点
貸出期間：平成 31 (2019)年 4 月 1 日～令和 2 (2020)年 3 月 31 日
- ③三菱重工航空エンジン株式会社
貸出資料：二式大型飛行艇火星 22 型エンジン（横置き）1 基
貸出期間：平成 31 (2019)年 4 月 1 日～令和 2 (2020)年 3 月 31 日
- ④三菱重工業株式会社
貸出資料：二式大型飛行艇火星 22 型エンジン（縦置き）1 基
貸出期間：平成 31 (2019)年 4 月 1 日～令和 2 (2020)年 3 月 31 日
- ⑤科学技術館
貸出資料：六分儀（収納ケース付）
貸出期間：平成 31 (2019)年 4 月 1 日～令和 2 (2020)年 3 月 31 日
- ⑥警視庁東京湾岸警察署
貸出資料：帆船模型“カティーク” 他 2 点
貸出期間：平成 31 (2019)年 4 月 1 日～令和 2 (2020)年 3 月 31 日
- ⑦横須賀市
貸出資料：船舶模型「戦艦“陸奥”（縮尺 1/100）」
貸出期間：平成 31 (2019)年 4 月 1 日～令和 2 (2020)年 3 月 31 日
- ⑧石狩市
貸出資料：旧石狩灯台灯器（アクリル製展示ケース含む）
貸出期間：平成 30 (2018)年 1 月 1 日 6 日～令和 2 (2020)年 1 月 1 日 5 日（予定）
- ⑨山梨県立盲学校
貸出資料：さわれる船の模型 他 1 点
貸出期間：令和元(2019)年 5 月 1 日 3 日～2 日 4 日
- ⑩公益財団法人福井原子力センター
貸出資料：巡回展アイテム「海のぎょシアター」 他 5 点
貸出期間：令和元(2019)年 6 月 1 日 0 日～1 日 8 日
- ⑪青函連絡船史料研究会 吉田孝志氏
貸出資料：青函連絡船毛布 他 2 点
貸出期間：令和元(2019)年 9 月 1 日 8 日～1 日 0 月 8 日
- ⑫横浜みなと博物館
貸出資料：船舶模型“クイーン・エリザベス 2” 1 点
貸出期間：令和元(2019)年 1 月 1 日 2 日～令和 2 (2020)年 1 月 1 日 6 日
- ⑬青函連絡船史料研究会 吉田孝志氏
貸出資料：青函連絡船毛布 他 2 点
貸出期間：令和元(2019)年 1 月 0 日 2 日 4 日～1 月 1 日 8 日
- ⑭一般財団法人清水港湾博物館（フェルケール博物館）
貸出資料：絵画「しらせ」 他 4 9 点

貸出期間：令和元(2019)年11月14日～令和2(2020)年2月28日

⑮国立科学博物館

貸出資料：船舶模型 北前船 1点

貸出期間：令和2(2020)年2月26日～6月26日(予定)

(5) 写真資料の貸出

出版会社等への写真資料の貸出を行った。 44件117点

(6) 資料の借用

①東京国立博物館

借用資料：船舶模型“麒麟丸” 他13点

借用期間：平成31(2019)年4月1日～令和2(2020)年3月31日

②東京大学総合研究博物館

借用資料：船舶模型“小菅丸” 他2点

借用期間：平成31(2019)年4月1日～令和2(2020)年3月31日

③鉄道博物館

借用資料：船舶模型「弁才船(半割)」 他5点

借用期間：平成31(2019)年4月1日～令和2(2020)年3月31日

④株式会社商船三井

借用資料：船舶模型“報国丸” 他2点

借用期間：平成31(2019)年4月1日～令和2(2020)年3月31日

⑤山高 登氏

借用資料：絵画「黄海海戦で奮戦する“赤城”油彩画」他36点

借用期間：平成31(2019)年4月1日～令和2(2020)年3月31日

⑥大家宏之氏

借用資料：船舶模型「北前船“両徳丸”」

借用期間：平成31(2019)年4月1日～令和2(2020)年3月31日

⑦独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

借用資料：マンガン団塊 他2点

借用期間：平成31(2019)年4月1日～令和2(2020)年3月31日

⑧公益財団法人日本財団

借用資料：中国絵画「大紅梅」 他2点

借用期間：平成30(2018)年12月7日～令和2(2020)年3月31日

(7) 催事等の開催

①ボランティアの展示解説

「船の科学館別館展示場」及び初代南極観測船“宗谷”について分かりやすく展示解説した。

活動人員：延べ274名

開催期間：平成31(2019)年4月から令和2(2020)年3月

開催日数：103日

※“宗谷”の展示案内については、8月は猛暑のため、また12月から3月までは冬季のため休止した。

開催場所：「船の科学館別館展示場」及び“宗谷”

②展示解説会

海洋について興味・関心を持ってもらうことを目的に、別館展示場において当館学芸スタッフによる展示解説会を実施するとともに、解説会終了後に「質問コーナー」を設置して、子どもたちからの海洋に関する様々な疑問に対してわかりやすく回答した。

- ・開催日：令和元(2019)年5月3日
テーマ：「知ってる？船が無いと困ること」
参加者数：18名
- ・開催日：令和元(2019)年5月4日
テーマ：「にっぽんの海ってどんなところ？」
参加者数：16名
- ・開催日：令和2(2020)年1月25日
テーマ：「知ってる？船が無いと困ること」
参加者数：5名
- ・開催日：令和2(2020)年2月25日
テーマ：「海と船のQ&A（宗谷編）」
参加者数：7名

※参加者合計数：46名（全4回）

③「海と船のおはなし会」

ボランティアの帆船愛好会「ソルティフレンズ」による当館が収蔵する海事図書資料を活用したファミリー向けの「絵本の読み聞かせ」を実施するとともに、当館学芸員による絵本に関連した事項を紹介、解説するギャラリートークを実施した。尚、8月実施分は、夏休みに開催した「海の学び舎わくわくキッズパーク」の特別プログラムとして実施した。

- ・開催日：平成31(2019)年4月6日
テーマ：「赤い灯台」
参加者数：26名
- ・開催日：令和元(2019)年5月5日
テーマ：「いるかのジャック」
参加者数：18名
- ・開催日：令和元(2019)年6月8日
テーマ：「チムとルーシーと海賊」
参加者数：18名
- ・開催日：令和元(2019)年8月14日（海の学び舎わくわくキッズパーク内）
テーマ：「ふなゆうれい」
参加者数：29名
- ・開催日：令和元(2019)年12月21日
テーマ：「チム灯台をまもる」
参加者数：21名
- ・開催日：令和2(2020)年2月22日
テーマ：「奇跡の船“宗谷”」

参加者数：23名

※参加者合計数：135名（全6回）

④視覚障がい者用宗谷見学プログラム「宗谷にタッチ！さわって学ぶガイドツアー」

通常の博物館展示だけでは対応が難しい視覚障がいのある方を対象に、船の大きさや質感、南極観測の意義や暮らしを支える船の重要な役割等について体感しながら知っていただくことを目的としたツアー形式の見学会を実施した。

- ・開催日：令和元(2019)年5月18日
開催場所：宗谷
参加者数：4組11名
- ・開催日：令和元(2019)年9月14日
開催場所：宗谷
参加者数：4組8名
- ・開催日：令和元(2019)年11月30日
開催場所：宗谷
参加者数：3組4名

※参加者合計数：11組23名（全3回）

⑤「海ごみゼロウィーク」関連イベント「海ごみ予備軍回収大作戦！—マイクロプラスチックってな～に？—」

海ごみの清掃活動を通じて海の未来について考えることを目的として、5月30日（ごみゼロの日）～6月8日（世界海洋デー）前後の「海ごみゼロウィーク」の期間中、協力機関・団体との連携のもと近隣ベイサイドの清掃活動や工作教室などの体験プログラムを実施した。

- ・活動日：活動①近隣ベイサイドの清掃活動
令和元(2019)年5月30日～6月1日、6月8日
活動②「海ごみ予備軍回収大作戦！—マイクロプラスチックってな～に？—」
令和元(2019)年6月2日(日)
- ・参加者数：98名

⑥「海の学び舎・わくわくキッズパーク」

子どもたちが普段より海に触れる機会が増える夏休み期間中、表現力や想像力を養う展示や特別体験プログラムへの参加を通して、楽しみながら海や船、海の生き物について学んでもらうことを目的として開催した。

開催期間：令和元(2019)年7月15日～8月25日

開催場所：別館展示場

【展示】（期間中の別館展示場入場者数18,189名）

- ・東京港の生き物たち写真パネル
- ・幼児向け海の生きものふれあいプレイコーナー
- ・海のいきものぬりえコーナー
- ・海の生きもの釣りコーナー
- 参加者数：413名
- ・船の科学館見学スタンプラリー

参加者数：1,922名

【特別プログラム】（15プログラム全32回：全参加者数952名）

ア. 浦島太郎のカメとうさぎとカメは違う！？～いろいろなカメの違いを知ろう

ウミガメ教室～

開催日：令和元(2019)年7月15日

参加者数：61名

協力：東京海洋大学うみがめ研究会

イ. 海に広がるプラスチックごみって、どんなもの？

開催日：令和元(2019)年7月20日

参加者数：43名

協力：国立研究開発法人海洋研究開発機構

ウ. 海からの贈りものーメタンハイドレート

開催日：令和元(2019)年7月21日

参加者数：61名

協力：東京海洋大学音響資源探査研究室

エ. チリメンモンスターを探せ

開催日：令和元(2019)年7月27日、8月12日

参加者数：130名

協力：東京海洋大学魚類学研究室

オ. ポンポン船の工作教室

開催日：令和元(2019)年7月28日

参加者数：66名

協力：日本郵船歴史博物館

カ. 魚のプロが教えるエビの体の秘密

開催日：令和元(2019)年8月3日

参加者数：20名

協力：一般社団法人大日本水産会魚食普及推進センター

キ. お塩の実験教室 塩ねんどを作ろう！

開催日：令和元(2019)年8月4日

参加者数：62名

協力：塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会

ク. 身近なものはどこからやってくるの？

開催日：令和元(2019)年8月10日

参加者数：39名

協力：東京海洋大学海事普及会

ケ. 台風は海からやってくる

開催日：令和元(2019)年8月11日

参加者数：67名

協力：一般財団法人日本気象協会

コ. どうして船は浮くのかな？いろいろな形の船を作ってみよう！

開催日：令和元(2019)年8月15日

- 参加者数：73名
協力：公益財団法人日本船舶海洋工学会海洋教育推進委員会
- サ. お天気の不思議
開催日：令和元(2019)年8月16日
参加者数：72名
協力：いであ株式会社
- シ. クラゲの不思議
開催日：令和元(2019)年8月17日
参加者数：62名
協力：北里大学海洋生命科学部
- ス. イカスマアートはいかが？
開催日：令和元(2019)年8月18日
参加者数：77名
協力：江東区環境学習情報館えこつくる江東
- セ. 海藻おしばでうちわを作ろう
開催日：令和元(2019)年8月24日
参加者数：45名
協力：公益社団法人観音崎自然博物館
- ソ. 南極体験授業～真夏の冷え冷え実験工作教室～
開催日：令和元(2019)年8月25日
参加者数：74名
協力：川崎市立菅小学校 教諭 山口直子
- (8) 共催・後援・協力事業
「海」、「船」、「環境」などをテーマとした各種事業に共催・後援・協力をを行い、海洋に関する科学知識の普及、啓発に努めた。
- ①「WEAR IT ライフジャケット着用推進月間」への協力
期間：令和元(2019)年5月18日～7月31日
協力内容：ホームページでの周知協力
主催：公益財団法人 マリンスポーツ財団
- ②日本マリンエンジニアリング学会見学会
開催日：令和元(2019)年5月28日
協力内容：“宗谷”見学および宗谷係留保存や南極観測等に関する講演
参加者数：28名
- ③「東京湾環境一斉調査」への協力
実施日：令和元(2019)年8月7日
実施場所：“宗谷”近辺
協力内容：水質調査
主催：東京湾再生推進会議モニタリング分科会等
- ④「マリンカーニバル in 2019 アーバンドックららぽーと豊洲」への協力
期間：令和元(2019)年7月6日～7日
実施場所：アーバンドックららぽーと豊洲

- 協力内容：協力名義の使用許可および缶バッチデータの使用許可
主 催：一般社団法人 日本マリン事業協会
- ⑤「第56回関東地区中学生海の絵画コンクール」への後援及び協力
協力内容：後援名義の使用および「船の科学館賞」贈呈
主 催：公益社団法人関東海事広報協会
- ⑥東京都産業労働局農林水産部による沖ノ鳥島資料展示への協力
期 間：令和元(2019)年10月12日～20日
実施場所：別館展示場
協力内容：別館展示場「にっぽんの海」コーナーでの展示協力
主 催：東京都産業労働局農林水産部
- ⑦一般財団法人清水港湾博物館への企画展付随イベント実施に係る協力
実 施 日：令和元(2019)年12月7日
実施場所：一般財団法人清水港湾博物館内
協力内容：「なんきょくかんそくせん 宗谷」のデジタル紙芝居の実施
主 催：一般財団法人清水港湾博物館
- ⑧「第20回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」東京海上保安部
表彰式への協力
実 施 日：令和2(2020)年2月8日
実施場所：巡視艇“まつなみ”
協力内容：「船の科学館館長賞」授与
主 催：東京海上保安部

(9) 博物館活動への参加

- ①みなとの博物館ネットワークフォーラム平成31年度通常総会
開 催 日：令和元(2019)年6月25日
場 所：うみてらす14 四日市港ポートビル
- ②全国科学博物館協議会総会・講演会
開 催 日：令和元(2019)年7月4日
場 所：国立科学博物館
- ③令和元年度日本フローティングシップ協会総会
開 催 日：令和元(2019)年7月5日
場 所：海王丸
- ④東京都博物館協議会及び日本博物館協会東京支部 役員会・総会
開 催 日：令和元(2019)年7月31日
場 所：江戸東京博物館
- ⑤みなとの博物館ネットワークフォーラム令和元年度スキルアップ交流会
開 催 日：令和元(2019)年12月4日～12月5日
場 所：瀬戸内海歴史民俗資料館他
- ⑥令和元年度ミュージアム・エデュケーション研修
開 催 日：第一期 令和元(2019)年9月25日～27日
第二期 令和2(2020)年2月6日、7日

場 所：第一期 東京都美術館
第二期 国立科学博物館

⑦宮城県慶長使節船ミュージアム企画運営委員会

開 催 日：令和2(2020)年1月24日

場 所：仙台国際ホテル

(10) 学校団体等訪問学習の受け入れ(2回開催、参加者数：8名)

校外学習等で来館する学校団体を対象に、当館学芸員が見学案内や質疑応答を通じて、「自ら考え、調べ、まとめる力」を養うとともに、海や船についてより深く学んでもらうことを目的に実施した。

①令和元(2019)年 5月12日 関東地方・中学生 修学旅行 4名

②令和元(2019)年 5月22日 中部地方・中学生 修学旅行 4名

(11) 学校及び社会教育機関等との連携による博物館活動(アウトリーチ、体験学習受け入れ)

学校及び社会教育機関等との連携により、当館ならではの海や船に関する学習プログラムを用いたアウトリーチ活動や受け入れ活動を行い、通常当館に来館する機会の少ない客層を対象に私たちの生活と海洋とのつながりについて学んでもらうことを目的に実施した。

①国立大学法人東京海洋大学(留学生)

体験学習の受け入れ

受 入 日：令和元(2019)年6月8日

受入人数：18名

受入内容：

- ・別館展示場の見学案内
- ・初代南極観測船“宗谷”の見学案内

②山梨県立盲学校

修学旅行体験学習の受け入れ

受 入 日：令和元(2019)年6月13日

受入人数：3名

受入内容：

- ・カヌーを使った操船体験(陸上)
- ・“宗谷”タッチツアー
宗谷の模型をタッチ(船の構造や特徴)
南極の氷にタッチ&氷がとけて気泡の中の空気が弾ける音の確認
生活に必要な食料やエネルギーのほとんどを運ぶ「船舶や海運」
の重要性の解説

③江東区中川船番所資料館

アウトリーチ(出前授業)

実 施 日：令和元(2019)年7月28日

実施場所：中川船番所資料館

実施内容：夏休み自由研究！旧中川のプランクトンを観察しよう

参加人数：36名

④環境学習情報館えこっくる江東

アウトリーチ（出前授業）

実施日：令和元(2019)年8月7日

実施場所：環境学習情報館えこっくる江東

実施内容：親子で学ぼう！おサカナまるごとウォッチング

参加者数：45名

⑤お台場学園（港陽中学校）

アウトリーチ（出前授業）

実施日：令和元(2019)年9月10日

実施場所：港陽中学校第二理科室、環境学習情報館えこっくる江東、東京海洋大学越中島キャンパス

実施内容：7年生：海の環境や食物連鎖等

8年生：大量生産・大量廃棄やリサイクル体験

9年生：エコシップ帆船・先端ナビゲーションシステムや明治丸
見学

参加者数：56名

⑥第9回坂東市サイエンスフェスティバル

アウトリーチ（出前授業）

実施日：令和元(2019)年10月25日

実施場所：坂東市総合体育館

実施内容：ポンポン船の工作&サイエンス教室、ヨットの工作&サイエンス
教室

参加者数：179名

⑦江東区中川船番所資料館

アウトリーチ（出前授業）

実施日：令和元(2019)年11月10日

実施場所：中川船番所資料館

実施内容：旧中川のプランクトンを観察しよう

参加人数：28名

⑧環境学習情報館えこっくる江東

アウトリーチ（出前授業）

実施日：令和元(2019)年12月14日

実施場所：環境学習情報館えこっくる江東

実施内容：親子で学ぼう！おサカナまるごとウォッチング in えこっくる江東

参加者数：29名

⑨江東区豊洲文化センター主催「豊洲あれこれゼミナール」

体験学習の受け入れ

受入日：令和元(2019)年12月18日

受入人数：28名

受入内容：初代南極観測船“宗谷”の見学案内

⑩港区立エコプラザ

アウトリーチ（出前授業）

実施日：令和2(2020)年1月19日

実施場所：港区立エコプラザ

実施内容：おサカナまるごと観察～煮干しの体の中を見る～

参加者数：25名

⑪環境学習情報館えこっくる江東

アウトリーチ（出前授業）

実施日：令和2(2020)年2月9日

実施場所：環境学習情報館えこっくる江東

実施内容：水パワーで動く船を作ろう！

参加者数：22名

(12) 「海の学び 次世代人材育成」の実施

大学との連携による次世代を育成する若い世代の育成を目的とした「海の学び 次世代人材育成」活動として実施した。

①楽水会「ランチ・セミナー」での講演

実施日：令和元(2019)年6月6日

実施場所：東京海洋大学品川キャンパス 楽水会館

参加者数：46名

②東海大学「博物館実習」の受け入れ

実施日：令和元(2019)年6月11日～16日

実施場所：船の科学館

受入人数：2名

※「海の学び人材育成」学生による展示解説会（6月16日実施）

一般参加者18名

③東京海洋大学「博物館実習」の受け入れ

実施日：令和元(2019)年12月10日～15日

実施場所：船の科学館、環境学習情報館えこっくる江東

受入人数：3名

※「海の学び人材育成」学生による展示解説会（12月15日実施）

一般参加者8名

(13) 資料等の製作

①補助解説シート「わくわくマリンKids No. 1、No. 3、No. 4、No. 5」の増刷

製作部数：No. 1、No. 4、No. 5・・・各3,000部

No. 3・・・6,000部

配布時期：令和元(2019)年6月～

配布場所：別館展示場

②「海の学び舎・わくわくキッズパーク」スタンプラリー景品用クリアファイルの製作・配布

製作枚数：4,000枚

配布時期：令和元(2019)年7月～

配布場所：別館展示場、初代南極観測船“宗谷”

⑥補助解説シート「わくわくマリンKids No. 6」の製作・配布

製作部数：3,000部

配布時期：令和2(2020)年3月～

配布場所：別館展示場

(14) 海洋及び船舶に関する研究

博物館の展示や教育普及は、調査研究と常に表裏一体であることから、当館が展示や教育普及の対象としているわが国の海と船の文化について、研究者と連携を図り調査・研究を継続している。本年度は、これまでの「南極観測を中心とした“宗谷”の歴史を記録する写真を収集すると共にデジタル化及び整理」の成果を、“宗谷”船内にタブレット端末を3か所設置し、これまで整理しデジタル化した写真データをタッチパネルで検索閲覧可能な展示機器として設置・整備した。

2. 施設改修整備

(1) 消防設備法定点検による不具合箇所修理工事

9月実施

- ①消火器格納箱が経年劣化のため交換整備を実施した。
- ②誘導灯が点灯不良のため交換整備を実施した。
- ③非常放送用スピーカーが器具不良のため交換整備を実施した。

3月実施

- ①消火器及び消火器格納箱が経年劣化のため交換整備を実施した。
- ②煙感知器破損のため交換整備を実施した。
- ③誘導灯等が点灯不良のため交換整備を実施した。

(2) 電気設備修理工事

本館一般動力回路で短絡事故が発生したため調査したところ、回路内部品の経年劣化によるものと判明したため、当該部品の交換等関連修理工事を実施した。

(3) 別館展示場改修工事

経年劣化が著しく、錆などの汚れが目立つとともに金具の落下等が懸念される状況となっていることから、来館者の安全確保及び快適な見学環境の維持を目的に改修工事を実施した。

(4) 展望塔機械室改修工事

経年劣化による雨水漏水のため天井部材の一部が落下するなど設備機械への障害が懸念されるため改修工事を実施した。

3. 広報関係

(1) 有料広告

- ①新聞、雑誌等による広告

1. 「海の日」関連名刺広告
発注先 (公財) 日本海事広報協会
(株) 日本海事新聞社
 2. 年賀名刺等広告
発注先 (公財) 日本海事広報協会
(株) 日本海事新聞社
(一社) 東京都港湾振興協会
 3. 東京シーサイドストーリー8月号への協賛広告
発注先 産経新聞社メディア営業局
- ②看板の掲出による広告
1. 駅電飾看板掲出
掲出駅 「ゆりかもめ」東京国際クルーズターミナル駅
発注先 (株) 文協
 2. 道路誘導看板
掲出場所 港区(お台場地区国道) 2基
発注先 関東地方整備局

(2) パブリシティー活動による無料広報実績

①テレビによる広報

1. テレビ朝日「グッド! モーニング」
令和元年5月2日放送 “宗谷” 紹介

②新聞による広報

1. 「りんかいB r e e z e」 りんかいB r e e z e 編集室
令和元年7月 「海の学び舎わくわくキッズパーク」 紹介
2. 「湾岸メール」 (株)アーバンメール
令和元年7月25日 「海と船のおはなし会」、「海の学び舎わくわくキッズパーク」 紹介
3. 日本海事新聞
令和元年12月13日 初代南極観測船“宗谷” 紹介
令和2年2月18日 初代南極観測船“宗谷” 紹介
4. 広報しながわ2087号 品川区
令和元年7月号 「海の学び舎わくわくキッズパーク」 紹介

③雑誌、WEB等による広報

1. 家族でおでかけ夏休み号 昭文社
船の科学館紹介
3. 東京シーサイドストーリー 産経新聞社
令和元年7月号 「海の学び舎わくわくキッズパーク」 紹介
4. 東京シーサイドストーリー 産経新聞社
令和元年8月号 「海の学び舎わくわくキッズパーク」 紹介
5. 東京シーサイドストーリー 産経新聞社
令和元年12月号 ミニ企画展示紹介

6. 東京シーサイドストーリー 産経新聞社
令和2年1月号 “宗谷” 展示休止紹介
7. 東京シーサイドストーリー 産経新聞社
令和2年2月号 “宗谷” 展示休止紹介
8. 東京シーサイドストーリー 産経新聞社
令和2年4月号 “宗谷” 紹介、臨海副都心のキーパーソン
9. まち歩き地図東京 2020 朝日新聞出版
令和元年8月号 船の科学館紹介
10. 三井ショッピングパークベトナム語パンフレット 三井商業
船の科学館紹介
11. 東京ウォーターフロントシティガイドマップ 一般社団法人東京臨海
副都心まちづくり協議会 令和元年8月発行 船の科学館紹介
12. イベントカレンダー しながわ観光協会
「海の学び舎わくわくキッズパーク」紹介
13. まっふる家族でおでかけ冬号 昭文社
船の科学館紹介
14. こどもとあそぼ！首都圏’21 K&B パブリッシャーズ
船の科学館紹介
15. 東京散策乗り物ガイド (株)教材研究所
令和2年1月発行 船の科学館紹介
16. 家族でおでかけ関東 昭文社
令和2年2月発行 船の科学館紹介
17. クロワッサン1012号「お茶の時間」 (株)マガジンハウス
船の科学館紹介
18. 街の便利帳12月号 (株)クリエイト
船の科学館紹介
19. 東京大人のミュージアムガイド 昭文社
令和2年1月発行 船の科学館紹介
20. Kanebo 歴史コラム (株)カネボウ
初代南極観測船“宗谷”紹介
21. わんだふるオーナーズ「街の変遷」 (株)CHINTAI
船の科学館紹介
22. 暮らしの百科12月号「気軽に幾路線の旅」 産経新聞社
船の科学館紹介
23. 東京2020観光ガイドブック (株)ドゥ・アーバン
船の科学館紹介
24. るるぶ観光データベース (株)ロードランナー
船の科学館紹介
25. 「りんかい線で行く お台場体験隊 2020～修学旅行・体験学習のご案内～」 りんかい線運営
船の科学館紹介

④インターネットによる広報

社会教育施設からの海洋教育の情報発信を充実させるため、当館「公式ホームページ」を活用し、当館で開催する体験学習等のイベント案内及び活動報告や海洋関連の情報をタイムリーに更新するとともに、SNS（ツイッター、フェイスブック）を活用した情報発信をすることで、当館における海洋教育の実践内容を広く公開した。

4. 展示・催事に係る造作、設営

①海の学び舎・わくわくキッズパーク」展示造作・設営及び撤去

夏休み期間限定で別館展示場を「海の学び舎・わくわくキッズパーク」として活動するために展示資料の模様替えや工作コーナー等の展示造作・設営を実施した。

発注先：ナカテンテクノ(株)

5. 船の科学館将来計画の策定事業

財団が立地する臨海部の東京ベイゾーンにおいては東京五輪・パラリンピックの競技会場が多数計画され、また、船の科学館に至近の水面では、令和2年7月の供用開始を予定する“東京国際クルーズターミナル”の建設工事が進められるなど、今後、周辺地域の開発は著しく進捗することが予想されることから国家戦略特区や周辺地域の開発計画等の情報収集を行った。

6. 経費節減策

(1) 看板、ポスター等の自主制作

敷地内に掲示する看板やイベント等告知ポスターなどを極力業者に発注せず、財団内にて制作している。

(2) 外注印刷物版下の自主制作

印刷物を制作する場合、印刷に必要なデータは極力自主制作することにより校正作業の軽減を図るとともに、版下作成代等の印刷費用を削減している。

(3) 小規模な修繕を職員で実施し経費の削減に努めた。

(4) 電力の節減策として、地域冷暖房による空調を中止し、必要な箇所のみ市販のエアコンに切り替えた。また、館内の照明は事務所等及び防犯上必要な箇所のみとしている。

(5) 定期昇給を実施しなかった。

(6) 出張に係る航空券の購入は早割り等の割引航空券を利用している。

(7) 贈答用ビール券等金券の購入は単価が安い金券ショップから購入している。

(8) 名刺の作成は業者への発注から、財団内で名刺作成ソフトにより各自作成することとしている。

III. 契約時事業目標の達成状況：

【助成契約書記載の目標】

「船の科学館別館展示場」及び初代南極観測船“宗谷”、屋外展示の公開、自館での

参加体験型プログラム及び通常の常設展示や普及事業での対応が難しい身体障がい者を対象としたガイドツアー等の開催、学校等へのアウトリーチ活動を積極的に展開するとともに、ホームページ上で収集資料に関するデータの公開等行うことにより、海や船への興味関心の喚起並びに海洋に関する科学知識の普及啓発を図る。

現施設に替わる新たな海洋博物館構想については、「東京国際クルーズターミナル」のオープン、「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催など、臨海副都心地区の変化を考慮して、多方面からの情報の収集に努める。

【目標の達成状況】

初代南極観測船“宗谷”、船の科学館別館展示場の公開、展示解説会、視覚障がい者用宗谷見学プログラム「宗谷にタッチ！さわって学ぶガイドツアー」、夏休み期間中の展示・特別体験プログラム「海の学び舎・わくわくキッズパーク」等を開催したほか、大学との連携による次世代を育成する若い世代の育成を目的とした「海の学び 次世代人材育成」活動を実施するとともに、「海」や「船」及び「環境」などをテーマとした各種事業に共催・後援・協力など行い、海事科学知識の普及啓発に努めた。また、“宗谷”展示リニューアル工事にて今年度から新たに導入した、海の環境問題をテーマとしたVR映像展示「VRブループラネット～海からの警鐘～」を別館展示場および“宗谷”船内に設置することで、より体験的に海を学習できるよう見学環境を整備した。

IV. 事業実施によって得られた成果：

来館者については、船の科学館別館展示場入館者64,576人、“宗谷”乗船者33,743人であった。

V. 成功したこととその要因：

1. 「海の学び舎・わくわくキッズパーク」特別プログラム参加者数の増加

※特別プログラム参加者数+41名<前年対比+4.5%>

その要因

当館の主な集客時期である夏季（7～8月）に合わせて例年行っている特別イベント「海の学び舎・わくわくキッズパーク」の定着・恒例化とともに、夏休みならではの自由研究を意識したプログラムの企画や近隣地域の教育委員会の協力による学校を通じた児童へのチラシ配布等の広報活動の強化が要因と考えられる。

2. 見学環境の整備に伴う外部資金の獲得

※獲得した補助金の額：477,000円

東京観光財団「観光施設の国際化支援補助金」

その要因

初代南極観測船“宗谷”多言語化に伴う展示解説の翻訳及び船の科学館別館展示場公衆フリーWiFi環境の整備工事実施に際して、積極的な外部資金獲得のための調査を行い、補助金獲得に向けた準備を行ったことが要因と考えられる。

VI. 失敗したこととその要因：

1. 別館展示場入場者数および初代南極観測船“宗谷”乗船者数の減少

その要因

本年度は初代南極観測船“宗谷”の長期保存整備に伴い、12月28日から3月31日までを公開休止としたことや、コロナ禍により3月1日から3月31日まで別館展示場の公開を休止したことから、公開日数が例年より大幅に減少したことが一つの要因として考えられる。

VII. 活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案：

1. 来館者のニーズと当館が注力して伝えたい学習内容との不一致

その対応

特に、「海の学び舎・わくわくキッズパーク」の各特別プログラムにおいて、様々な協力団体との連携により多様な「海の学び」の学習プログラムを提供しているが、参加者の応募状況を見ると定員に達しないプログラムもあれば「ポンポン船の工作教室」などの工作イベントは逆に多数の応募があることから、プログラムによって来館者のニーズに大きな差が見られる。どのプログラムにおいても海の学びの質における差は少ないが、集客力に大きな差が出る原因として、工作などの体験的かつ楽しみやすいプログラムであることが考えられることから、集客力の低いプログラムにおいては今後、体験的かつ楽しめる要素の導入などの対応に努めたい。

事業成果物：

【成果物の名称】

「海洋に関する科学知識の普及啓発に係る環境整備」事業完了報告書

【成果物がアップロードされているCANPANのURL】

日本財団助成事業 収支計算書

(2019年 4月 1日から 2020年 3月 31日まで)

団体名： 公益財団法人 日本海事科学振興財団

事業名： 基盤整備事業

(収入の部)

(単位：円)

費目	予算額 (A)	決算額 (B)	受入済額 (C)	未収額 自動計算(A-C)	助成金返還見込額 自動計算(A-B)
①日本財団助成金収入	333,490,000	333,490,000	333,490,000		
②自己負担	43,660,000	30,739,255	39,163,625		
③収入合計	377,150,000	364,229,255	372,653,625		

(支出の部)

(単位：円)

費目	日本財団承認済 の予算額 (x)	決算額 (y)	支出済額 (z)	未払額 自動計算(y-z)	補足説明、備考
事業費・人件費厚生費	69,950,000	63,918,243	62,598,368	1,319,875	
事業費・一般事業	7,590,000	2,860,741	2,410,560	450,181	
事業費・展示事業	15,830,000	9,439,327	7,734,493	1,704,834	
事業費・施設運用保守管理	71,430,000	95,432,311	59,443,094	35,989,217	
管理費・人件費厚生費	68,910,000	57,575,979	56,536,799	1,039,180	
管理費・その他経費	21,280,000	13,077,350	13,038,549	38,801	
特定資産支出	2,160,000	2,512,404	2,512,404		
事業費・宗谷長期保存整備	0	92,618,698	90,000,000	2,618,698	宗谷改修にて固定資産とはなら なかった修繕費相当額
什器備品除却損	0	33,597	0	33,597	宗谷展示改修工事固定資産廃棄 費用
固定資産取得支出 構築物	90,000,000	0	0		宗谷船体部分はすべて費用処理 となったため
固定資産取得支出 什器備品	30,000,000	6,002,913	115,500	5,887,413	宗谷展示改修のうち什器備品相 当他
固定資産取得支出 展示品	0	20,757,692	0	20,757,692	宗谷展示改修のうち展示品相 当(映像)
④支出合計	377,150,000	364,229,255	294,389,767	69,839,488	

※助成金・負担金額の確定は監査終了後、当財団よりご連絡いたします。

※予算額に対し、決算額が下回った場合、助成金の返還が生じます。